

# 十和田市春まつり

Towada Spring Festival

十和田市春まつりは4月20日から5月5日まで16日間、官庁街通りや中央公園緑地などで開催されました。訪れたかたは見事に咲き誇る桜を堪能していました。

写真上▶4月30日、官庁街通りの桜は満開に。天候にも恵まれ、観光客で賑わっていました。  
写真右・下▶4月24日、「春らんまん！笑顔SunSun！よさこい元気祭り」が桜の広場で行われました。当初行われる予定だった「とわだYosakoi夢まつり」が東日本大震災の影響により中止となりました。しかし、「今こそ十和田に元気を！」と声を上げたのがよさこいチーム北里三源色。彼らの熱い想いにより、よさこい元気祭りが開催となりました。参加チームは三源色のほかだんぼー、馬花道など5団体。総踊り「よっちょれ」も行われ、観客も見よう見真似で踊りに参加していました。桜はまだ開花していませんでしたが、笑顔は満開に咲き誇っていました。写真は三源色。

日本の道百選―官庁街通り。156本の桜と165本の松が彩る全長1.1kmの通りは桜の鮮やかな薄いピンクと松の深い緑が見事なコントラストを見せます。  
今年の桜の開花宣言は昨年より3日早い、4月25日。観光バスの減少や悪天候などにより観光客が減少したものの、桜の満開が連休と重なり、賑わいを見せていました。  
また、十和田市春まつりは桜流鏝馬やよさこい元気祭りなど多彩なイベントが行われました。  
堂々と咲き誇る桜の姿に、訪れたかたは感嘆の声をあげ、写真に収めていました。舞い散る桜の花びらに想いを乗せて―来年もまた、十和田で笑顔の再会をしましょう。

- 1 4月23、24日の2日間にかけて中央公園緑地で行われた桜流鏝馬。女流騎士らの堂々たる姿に観客はくぎ付けとなりました。
- 2 5月5日の官庁街通りは一面桜のじゅうたん。
- 3 十和田市発展の礎となった稲生川沿いを歩く「太素ウオーク 2011～水土里の路 疎水百選ウオーク」が5月3日に行われ、150名が参加。晴天の中、川沿いの景色を堪能しながら親子仲良くウオーキング。
- 4 官庁街通りでは、ボランティアガイドが観光客を案内。マップを片手に丁寧に説明をしていました。
- 5 駒っこランドでも4月29日から5月5日まで春まつりが開催され、期間中家族連れなどで賑わいました。怖がりながらも馬にニンジン差し出す子どもたち。
- 6 4月29日から5月5日まで環境緑化まつりが中央公園緑地で行われました。木工体験ではのこぎりで一生懸命木を切る子どもの姿が。気分は一人前の大工さん。
- 7 花見客で賑わう中央公園緑地。

